伊勢湾台風写真台帳

写真名称：	木曽岬村源緑の木曽川左岸の破堤箇所を上流側から望む(1)
エ リ ア：	三重県
撮影箇所：	木曽岬村
撮 影 日：	1959 年
撮 影 者：	旧建設省
資料提供者：	木曽川下流河川事務所
状　　況：	ー

撮影位置

※国土地理院発行地形図を使用

現地状況、コメント等

伊勢湾台風被災後に、被災状況を把握するために踏査したときのものとされている。
木曽川左岸 1.8ｋ附近源緑地先の様子である。破堤箇所は、樋管があったとされている。
踏査時の調査表には以下のように整理されている。
＜10 月 14 日　災害状況調査表＞
●堤防の様子／前面状況：よし・洲、嵩上げ堤か：嵩上げ堤、旧堤部はどうか：破堤、法線方向：北北西、道路を兼用しているか：兼用、水防状況：不可能
●溢流しているか／その時刻:≒20 時～20 時 30 分、溢流深(波立):≒1.0m
●波の来た方向／しぶきがこしたか：こした、その高さ：≒2m以上
●木の傾いている方向：北北東、何度位（地面に対し）：60°、樹種：マツ
●木の倒れている方向：北北東、根入深さ：1.0m、木の太さ：≒0.2m、樹種：もく
●電柱が傾いている方向／北東、何度位：40°、電線がついているか：ついていない
●草がねていたか／その方向：北北東、場所：法面、大きさ：1.0～1.5m
●灌木は残っているか：残っている、大きさ：2～2.5m
●堤内地の家の壊れ方／壁、屋根、柱：流失全滅